

開業を志すすべての医師が、

適正なコスト感覚と開業手順の明瞭な理解をもつて、

合理的に開業されることを願つて――

改訂にあたつて

『クリニック開業「実践」ガイドンス』は、2018年12月に初版を出版以来、開業を考えられる医師や関係会社の皆様をはじめ、多くの方々に活用され、好評のもとに版を重ねてきました。しかし初版から4年が経ち、新型コロナウイルスの流行や医療における情報通信技術の発展など、医師や医療機関をめぐる環境は大きく変化しています。

同時に、開業を考えている医師が、より多くの情報を収集し、開業に対して「自分が解決・行動する」という意識をもつて取り組みたいという、医師側のニーズの変化も強く感じています。

本書は、こうしたクリニック開業をめぐる環境や諸制度の変化に対応する形で加筆・訂正し、さらに「開業医、すなわち経営者になる」という観点も加えて、タイトルも一新して、『「決定版」クリニック開業ガイドンス』として出版いたしました。ぜひとも、本書をきっかけに「開業医、すなわち経営者になる」ということについて深く省察していただき、一步を踏み出されることを願っています。

2023年1月

椎原 正

或るドクターとコンサルの会話——序

勤務医のDr.間^{はま}は、将来に不安を持ちはじめていた。

「とにかく多忙だし、雑務も膨大。子どもが私立の医学部へ進学したいと言つたら、今の収入で教育費はまかなえないだろう。やはり自分も開業か？ でも……」

そこで、とりあえずインターネットで目に付いたコンサルタント主催の開業セミナーに参加してみることにした。

いつか開業するなら、早くチャレンジすべきなのか、情報は聞いておきたいと思ったのだ。セミナー後、講演者が挨拶に来た。

椎原 本日はありがとうございました。いかがでしたか？

Dr.間 将来のことを考えて参加してみたものの、セミナーに参加したのは初めてですし、開業

できる実感がわかないというのが正直なところです。

椎原 そうですか。いろいろな会社が開業セミナーを開催していますから、いくつか聞いてみるのがよいと思います。

Dr.間 はい。でもリスクを背負うよりも、勤務医のままのほうがよいのかかもしれないとな。

新型コロナの影響で患者さんが減っている開業医の先生もいらっしゃると聞きますし。確かに、患者さんの働き方や受診行動に大きな変化がありました。テレワークが増えた

椎原 都市部では大きな影響を受けたクリニックもあります。

Dr.間 これからどうなるかわからない状況で、患者さんが確実に集まる保証はないですね。開業場所の基本は、競合するクリニックが少なく、患者さんの多い場所を選ぶことです。それとインターネット戦略を練ることも大事です。特にコロナ禍では、インターネットで積極的に情報発信を行ったクリニックは患者さんが増えた傾向にあります。

椎原 Dr.間 しかし、多額の借入をして、その返済が本当にできるのか心配です。それは当然です。ですから、あれもこれもと過大投資した開業をせず、借入が大きくなりすぎないように開業することが大事なんです。

Dr.間 なるほど。でもそんなことができるのですか？

椎原 Dr.間 できます。「最初からフル装備で開業するのではなく、軌道に乗つてから追加投資していく」という考え方を持つていてただくだけでも全然違います。もちろんそれ以外にも気をつけるべきポイントはたくさんあります……。

椎原 そうなんですね。ぜひ教えてください。

Dr.間 わかりました。では説明していきましょう。